

3/28

## 自衛隊弾薬庫

参院予算委員会で防衛相

浜田靖一防衛相は2日の参院予算委員会で、自衛隊の戦闘継続能力（繼戦能力）強化のため、10年間で全国

に弾薬庫を約130棟整備するとの明瞭化にした。岸田文雄首相は弾薬庫整備を巡り「関係法令に基づいて周辺施設と十分な距離を確保するなど安全面に配慮する」と述べ、安全確保に万全を期すと強調した。

政府は2023年度、青森、大分両県の自衛隊施設内に計4棟の弾薬庫の新設に着手する。予算案で浜田氏は「27年度までに約70棟、10年後までに約60棟の整備を目指としている」とした。

質問した共産党の小池晃参院予算委員会で防衛相

氏は「弾薬庫は真っ先に他の攻撃対象になる」と批判。首相は「自衛隊の抑止力、対処力を向上させ、武力攻撃そのものの可能性を低下させる」と説明した。

他国領域のミサイル基地などを破壊する反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有を巡り「間違つても憲法や国際法、国内法の範囲を超えることはない」と説明。平和国家の歩みを維持するところ、「装備を用意するのは大事だが、問題はどう運用するかだ。多くの国が（日本）の反撃能力保有に理解を示している」と語った。